

2020.10.27

山口きらめき財団助成金事業

防災ワークショップ 2020 レポート (ver1.0)

一般社団法人やまぐち GIS ひろば
事務局長) 弘中 淳一



【開催要項】(参加者) 39 名 (うち中学生 8 名、中学校教諭 3 名、スタッフ 3 名)

① 日時 : 2020/ 10/ 17(土) 9:00~15:30

② 場所 : (集合場所) 防府市立大道中学校

(まち歩き場所) 大道中学校付近の計 4 箇所 (旦東、遠ヶ崎、小俣、岩淵)

③ 主催 : 一般社団法人やまぐち GIS ひろば

④ 後援 : 防府市、防府市教育委員会

⑤ 協力 : 防府市立大道中学校、大道地区防災士協議会

1. オリエンテーション

【開会あいさつ】（一社）やまぐち GIS ひろば 理事長 三浦房紀



【大道地区のご紹介】大道地区防災士協議会 理事 藤井辰美氏



左【オリエンテーション】（一社）やまぐち GIS ひろば 事務局長 弘中淳一

右【本日の撮影許可（お願い）】防府市立大道中学校 宮川教頭先生



2. まち歩き（危険箇所の情報収集）

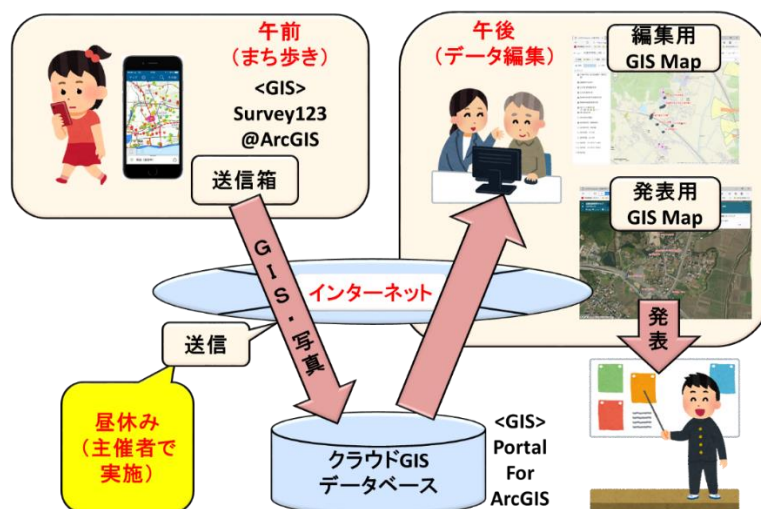
4班4地区（約1時間/班）のまち歩きを実施しました。約9名（/班）のうち、リーダー、サブリーダーを地元の防災士さんに、タブレットを使った危険箇所の記録（GISデータ入力）を2名の中学生に、担当していただきました。過去の災害や防災設備等、地域を熟知した防災士さんのお話は、大変参考になりました。タブレットは、大道中学校で使用しているiPadを借用させていただきました。ありがとうございました。

【まち歩き地域】防府市大道中学校付近



【地域危険箇所の記録方法】

(1) 全体処理フロー



(2) タブレットの入力内容 (GIS : Survey123@ArcGIS)

豪雨時の危険箇所記録調査票

大連中学校周辺の危険箇所を調査するための調査フォームです。

調査日を選択してください。*

2020/10/16

グループ名（班名）選択*

グループ名（班名）を選択します（必ず選択すること）

- 選択してください -

危険箇所の写真を添付してください。

画像 ファイルの選択

危険箇所の場所を指定してください。*

地図表示

ヒント: この質問は現在位置を使用します。押して続行します。

豪雨災害の危険

どのような危険場所に相当しますか。チェックを入れてください。

☐ ふたの無い配管

☐ 過去に水に浸かった場所（浸水）

☐ 決壊の恐れがある場所（実績と予想）

☐ ポンプ場などの防災施設

☐ 大雨時の避難所

☐ その他

他に気づきなどありましたら、入力してください。
入力しなくてもかまいません。

送信

班名選択（必須）

多少の位置ずれは気にしない。
ワークショップ（午後）に修正する

左記以外の気づきは、「その他」を選択する。
別の入力フォームが表示される

調査番号(1 など)を入力すること(紙面の情報と合わせる)

音声入力可

【まち歩き】



タブレットを使用した GIS データ入力（音声入力、写真撮影）



急傾斜地危険区域（看板設置あり）



高潮対策用の農業用水門



過去(2009 年)堤防が決壊して冠水(辺り一帯)



土砂災害警戒区域内のふたのない側溝



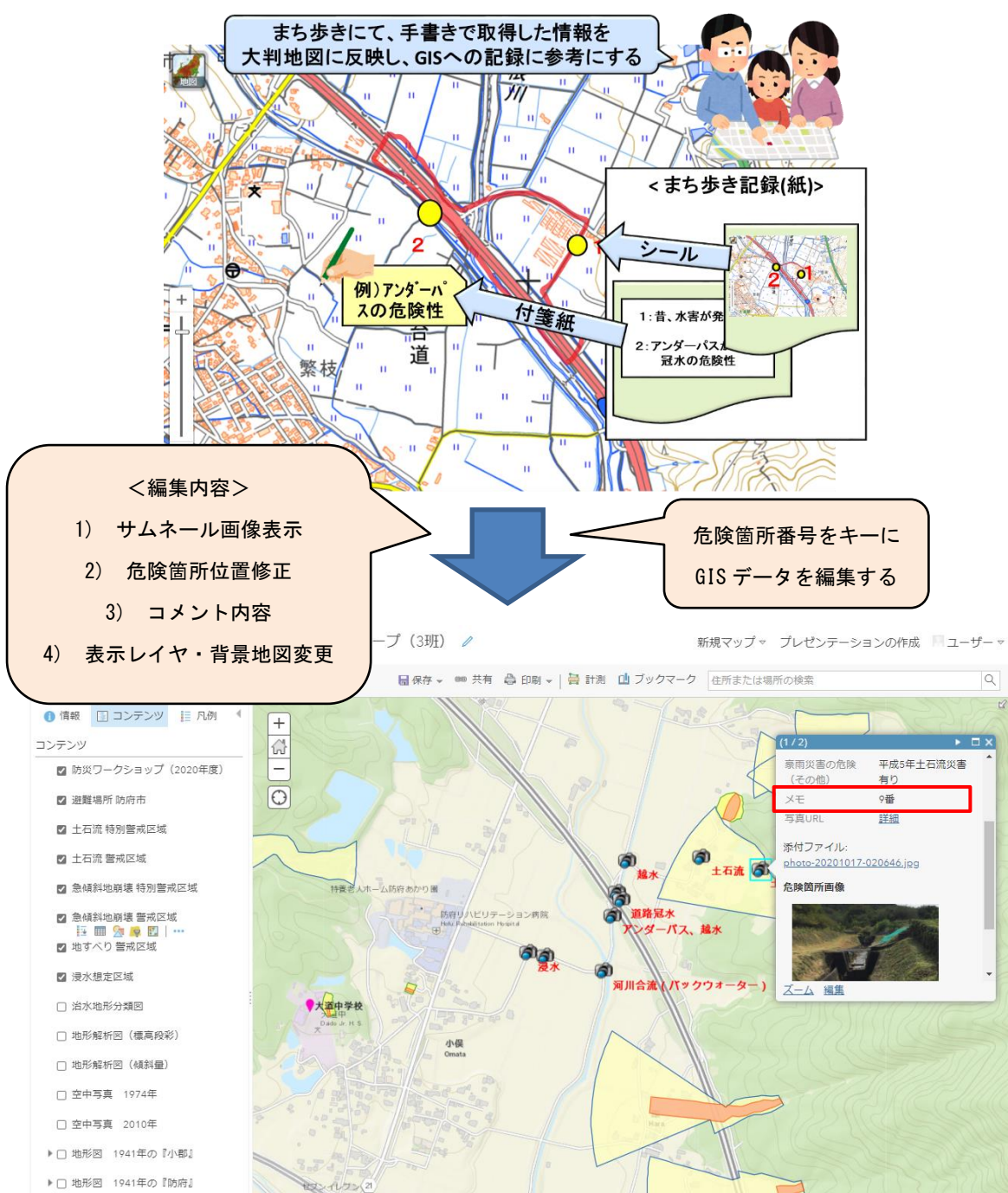
防災設備（ポンプ場）



増水時に危険な用水路出口

3.ワークショップ（パソコン GIS 操作によるデータ編集）

午後からのワークショップは、各班に分かれてパソコンの GIS 操作によるデータ編集を行いました。まち歩きの際に、GIS によるデータの記録と並行して、紙面での記録も実施しており、両者（GIS、紙面）に同じ危険箇所番号を採番することで、紙地図への記録情報を参考にし、GIS に反映いたしました。



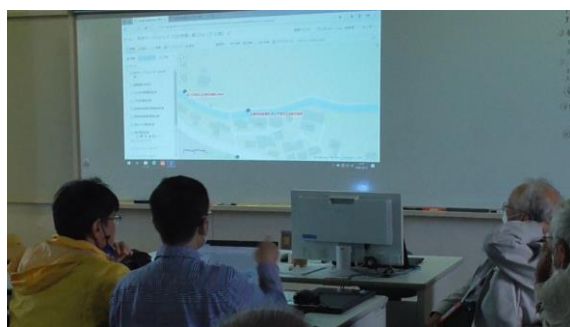
【ワークショップ（GIS データ編集）の様子】



第 1 班（視聴覚室）



第 2 班（視聴覚室）



第 3 班（家庭科室）



第 4 班（家庭科室）



4. GIS 発表

パソコンでデータ編集した GIS を使用し、各地区の危険箇所を発表しました。



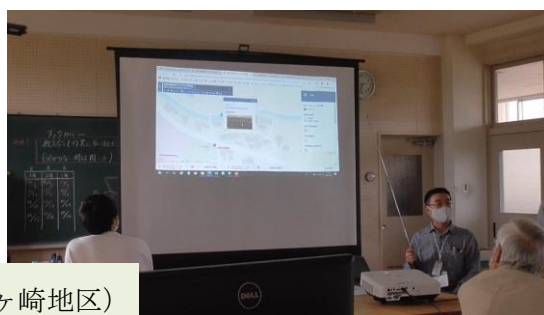
見学風景



第 1 班（旦東地区）



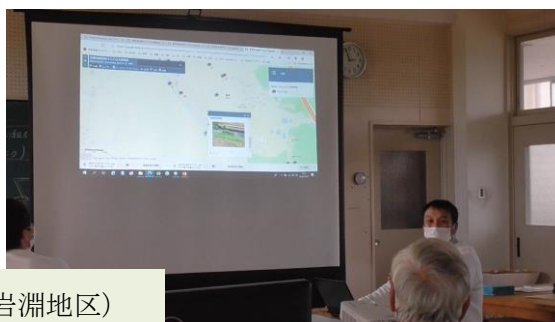
第 2 班（遠ヶ崎地区）



第 3 班（小俣地区）

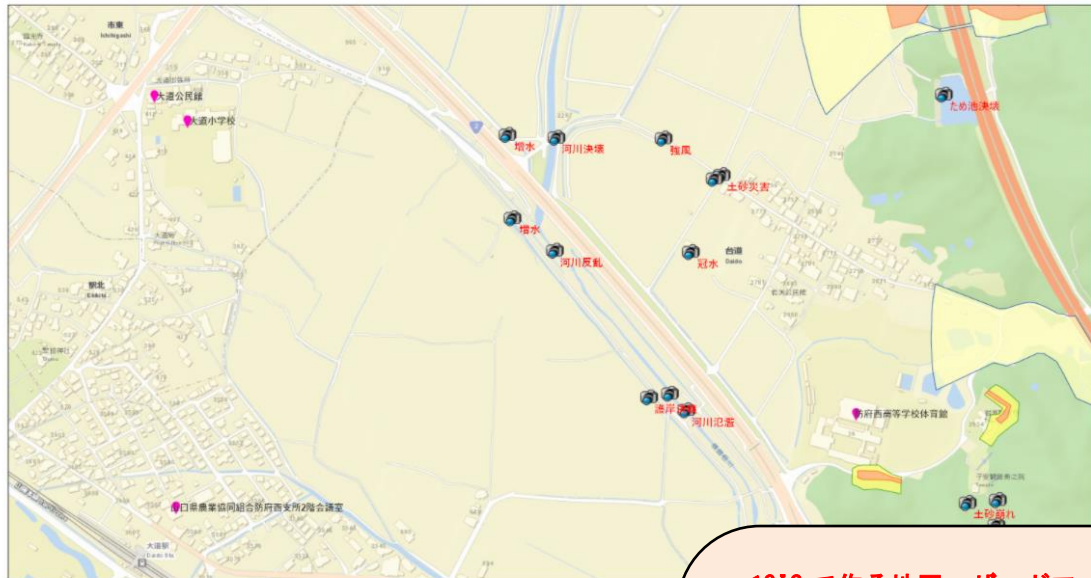


第 4 班（岩淵地区）



【地区ハザードマップ（サンプル）】

岩淵地区ハザードマップ



10月26, 2020
 Survey Point
 避難場所_防府市
 避難場所と避難所
 土石流_特別警戒区域
 土石流_警戒区域
 急傾斜地崩壊_警戒区域
 急傾斜地崩壊_特別警戒区域



<GIS で作る地区ハザードマップの特長>

自由度の高いマップを簡単に作成できること

- 1) 表示縮尺を自由に変えられる
- 2) 複数のハザードマップを同時に表現できる
- 3) 表示レイヤ（地域危険箇所、避難場所等）を自由に追加できる
- 4) 電子データで記録されるため、スマートフォンでの操作や来年度以降への引継ぎ、横展開が容易に行える（「記憶」から「記録」へ）



5. 終了挨拶



【所感】

雨も心配されましたが、何とかまち歩きを行うことができました。一人も怪我なく、事故なく終えたことが何よりでした。

今年度は、大道中学校の協力により、中学生の積極的な参加が実現できました。これまで、GISの入力は大学生や民間企業の有識者が行っていたところを、今年は中学生に担っていただきました。ふるさと学習の授業でタブレット GIS 操作を一通りマスターしていたため、当日の入力はスムーズに行え、午後からのワークショップも滞りなく行えました。やはり若い世代の ICT 機器操作においては、高齢者に比べてかなりのアドバンテージを感じました。また大道地区防災士協議会の防災士さんにおいては、地区の危険箇所やこれまでの大道地区の災害履歴を事細かに説明していただきました。共に歩いた地域の中学生も、よい学びの機会になったことでしょう。この若い世代の ICT 知見と高齢者の豊富な経験とのコラボレーションが「地域の危険は地域で守る」ことに繋がることを痛感しました。今回の防災ワークショップがそのきっかけとなれば何よりです。

本法人における今後の課題においては、最後に堀理事がお話したように「地域で使える GIS の提供」と考えております。“地域に使いやすい GIS”、そして“今回のように単発でなく、恒久的に使える GIS”を実現するために、地域と一緒に取組んでゆきたいと考えております。本法人のミッションは「地域防災活動」そのものでなく「地域防災活動を支援する GIS の提供」であり、これを実現するためには、地域の声が必要です。みなさんと一緒に今後も取り込んでゆければ幸いです。

最後に、土曜日にもかかわらずサポートしてくださった大道中学校、大道地区防災士協議会をはじめ、ご来場くださりましたみなさま、スタッフ一同に厚くお礼を申し上げます。引き続き、共に進んでゆければと思っております。

以 上